

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成26年6月26日(2014.6.26)

【公表番号】特表2011-521986(P2011-521986A)

【公表日】平成23年7月28日(2011.7.28)

【年通号数】公開・登録公報2011-030

【出願番号】特願2011-512021(P2011-512021)

【国際特許分類】

C 0 7 D 213/64	(2006.01)
C 0 7 D 405/04	(2006.01)
A 6 1 K 31/4412	(2006.01)
A 6 1 K 31/4433	(2006.01)
A 6 1 P 35/00	(2006.01)
A 6 1 P 43/00	(2006.01)
A 6 1 P 11/00	(2006.01)
A 6 1 P 1/00	(2006.01)
A 6 1 P 15/00	(2006.01)
A 6 1 P 13/08	(2006.01)
A 6 1 P 1/16	(2006.01)
A 6 1 P 1/18	(2006.01)
A 6 1 P 25/00	(2006.01)
A 6 1 P 13/10	(2006.01)
A 6 1 P 13/12	(2006.01)
A 6 1 P 17/00	(2006.01)

【F I】

C 0 7 D 213/64	C S P
C 0 7 D 405/04	
A 6 1 K 31/4412	
A 6 1 K 31/4433	
A 6 1 P 35/00	
A 6 1 P 43/00	1 0 5
A 6 1 P 11/00	
A 6 1 P 1/00	
A 6 1 P 15/00	
A 6 1 P 13/08	
A 6 1 P 1/16	
A 6 1 P 1/18	
A 6 1 P 25/00	
A 6 1 P 13/10	
A 6 1 P 13/12	
A 6 1 P 17/00	

【誤訳訂正書】

【提出日】平成26年5月2日(2014.5.2)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 6 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0065】

好ましくは、R⁴～R¹³の少なくとも2つがOHである。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

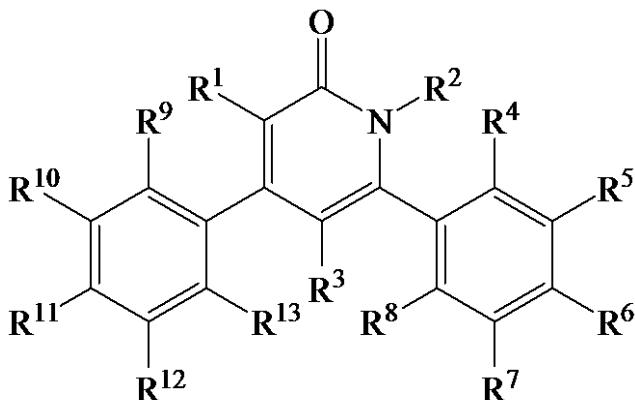
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式I：

【化1】



(I)

【式中、

R¹、R²およびR³は独立にHまたはC₁₋₆アルキルであり；

R⁴、R⁵、R⁶、R⁷およびR⁸は独立に、H、ハロ、C₁₋₆アルキルまたは-O-C₁₋₆アルキルであって、少なくとも1つが-O-C₁₋₆アルキルであるか；または環上で互いに隣り合ったR⁴～R⁸のペアの少なくとも1つが一緒になって-O-(CR¹⁴R¹⁵)_n-O-を形成し、ここでnは1または2であり、R¹⁴およびR¹⁵は独立にHまたはC₁₋₆アルキルであり、R⁴～R⁸の残りの基は独立にH、ハロ、C₁₋₆アルキルまたは-O-C₁₋₆アルキルであり；および

R⁹、R¹⁰、R¹¹、R¹²およびR¹³は独立にH、ハロ、C₁₋₆アルキルまたは-O-C₁₋₆アルキルであって、少なくとも1つが-O-C₁₋₆アルキルであるか；または環上で互いに隣り合ったR⁹～R¹³のペアの少なくとも1つが一緒になって-O-(CR¹⁶R¹⁷)_m-O-を形成し、ここでmは1または2であり、R¹⁶およびR¹⁷は独立にHまたはC₁₋₆アルキルであり、R⁹～R¹³の残りの基は独立にH、ハロ、C₁₋₆アルキルまたは-O-C₁₋₆アルキルであり；

但し、R⁶およびR¹¹の両方が-OMeであることはない】

で示される化合物またはその製薬的に許容し得る塩またはその溶媒和物。

【請求項2】

R⁹、R¹²およびR¹³が独立にH、ハロまたはC₁₋₆アルキルであり、R¹⁰およびR¹¹が一緒になって-O-C(R¹⁶R¹⁷)_m-O-を形成し、mが1である、請求項1記載の化合物。

【請求項3】

R⁹、R¹²およびR¹³がHである請求項2記載の化合物。

【請求項4】

R¹⁶およびR¹⁷の両方がHである請求項2または3記載の化合物。

【請求項5】

R⁹～R¹³の1つが-O-R¹⁸であり、R¹⁸はC₁₋₆アルキルであり、残りの基は独立に

H、ハロまたはC₁₋₆アルキルである、請求項1記載の化合物。

【請求項6】

R¹⁰～R¹²の1つが-O-R¹⁸である請求項5記載の化合物。

【請求項7】

R¹⁸が、C₁₋₄アルキルである、請求項5または6に記載の化合物。

【請求項8】

R⁴、R⁵、R⁶、R⁷およびR⁸の少なくとも2つが-O-C₁₋₆アルキルである請求項1～7のいずれかに記載の化合物。

【請求項9】

R⁴およびR⁶またはR⁵およびR⁶が-O-R¹⁹であり、残りの基が独立にH、ハロまたはC₁₋₆アルキルである、請求項8記載の化合物。

【請求項10】

R⁶が-O-R¹⁹であり、R¹⁹はC₁₋₆アルキルであり、残りの基は独立にH、ハロまたはC₁₋₆アルキルである、請求項1～7のいずれかに記載の化合物。

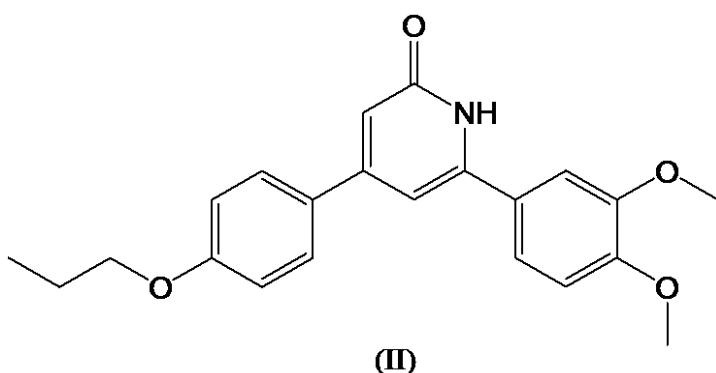
【請求項11】

各C₁₋₆アルキルがC₁₋₄アルキルである請求項1～10のいずれかに記載の化合物。

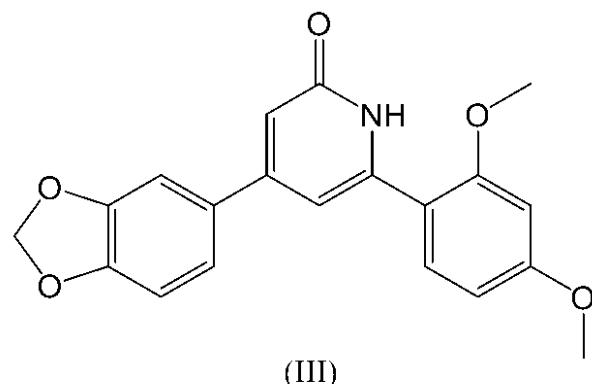
【請求項12】

前記化合物が

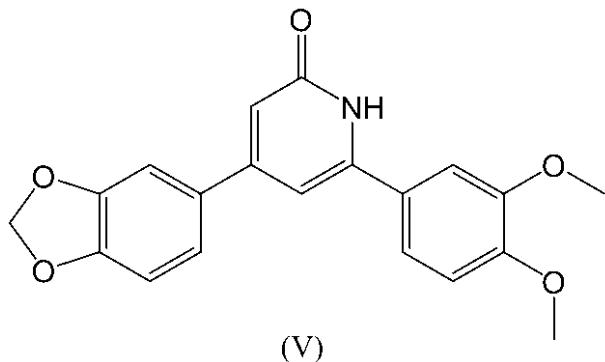
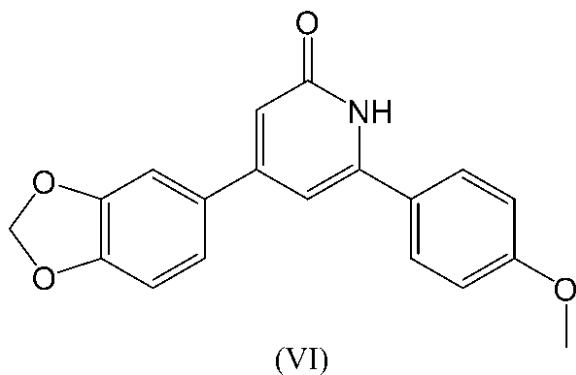
【化2】



【化3】



【化4】

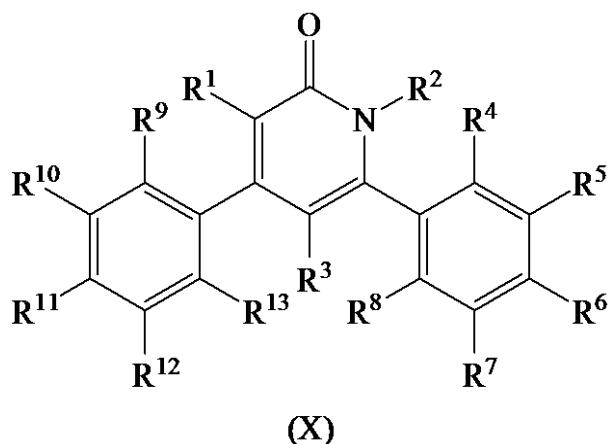
または
【化5】

から選択される請求項1記載の化合物。

【請求項1-3】

式(X)：

【化6】



[式中、

$R^1 \sim R^3$ は独立にHまたは C_{1-6} アルキルであり；
 $R^4 \sim R^{13}$ は独立にH、OH、ハロ、 C_{1-6} アルキルまたは-O- C_{1-6} アルキルであつて、 $R^4 \sim R^{13}$ の少なくとも2つがOHである]

を有する細胞毒性化合物またはその製薬的に許容し得る塩またはその溶媒和物。

【請求項1-4】

増殖障害の処置において使用するための請求項1～13のいずれかに記載の化合物。

【請求項1-5】

前記増殖障害が癌である、請求項1-4に記載の化合物。